

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 10/Mar/2025/vol.820



淡路の「新玉ねぎ」(兵庫県淡路島) Seasonal onion (Early spring)

淡路島で玉ねぎ栽培が始まったのは約130~140年ぐらい前だといわれています。明治21年(1888年)に海外から輸入した玉葱の種子で試作し始めたのが最初で、その後土地に即した栽培方法を巡り試行錯誤しながら本格的な生産にこぎつけました。淡路島は元々温暖な気候に恵まれ、海に囲まれた環境からミネラル分が豊富な土壌となっています。そして、通常よりは時間をかけてじっくり育て収穫されるために、その時間が他に無い甘みと味わいを引き出すとされています。今では地域を挙げてのブランド化にも成功し、知名度もあがっています。玉ねぎは極早生、早生、中生(なかて)、晩生(おくて)と年間を通して様々な品種、味わいが楽しめるのがまた醍醐味でもあります。今年も年が明けて本格的な春の訪れが待たれるタイミングで「新玉ねぎ」が到着いたしました。土、水、空気、そして農家の技術も含めながら、淡路の大地が生み出す、甘みの強い、そして柔らかく瑞々しい「新玉ねぎ」の味わいを楽しむことといたしましょう。